

# 重耐塩塗装について (ISO14993 準拠)

\*ハウジング型式末尾「-TTC」

錆びる要素のあるアルミ及び鉄部分の弊社基準での塗装の概要は下記通りとなります。

その有効性については塩水噴霧サイクル試験 ISO14993 に準拠して試験を行い確認しておりますが設置時に塗装部に傷をつけてしまった場合の処置や、弊社屋外用ドームハウジングシリーズの P14 (1/4-20 メスネジ部への防錆処理) についてをお読みいただき最大限の効果が発揮できるようにしてください。

また、定期的に清掃を行い、塩やその他の汚れが長期間付着しないようメンテナンスを行ってください。

## 屋外ハウジングアルミ及び鉄部への耐塩塗装の流れ

RoHS 適合

### ① 化成被膜処理



### ② カチオン電着塗装 (天吊 C 型金具・コーナーマウント除く)



### ③ ドライプロテクター粉体塗装

(エポキシ系で高い防蝕性:主にケミカルに強い、亜鉛溶融メッキと同等の性能)



### ④ ポリエステル系粉体塗装 (耐候性に強い)

#### ■ SUS304 製取付金具及びポールマウントアダプター

ポールマウントアダプター A-BK3S、壁面取付金具 A-BK12S、天吊り C 型金具 A-CM260、コーナーマウント A-CM3 は上記①③④を行っております。

#### ■ SUS304 製ビス及びその他ワイパー関連部品

上記②のカチオン電着塗装を行っております。

\*ポールマウントの 3/8" ボルト類及びワイパーシャフト軸など、一部機能上の理由によりカチオン電着塗装をしていないものがあります。

#### ■ 1/4-20 メスネジ固定ビス部

カチオン電着後、固着タイプシリコンクリアー塗布

#### ■ 1/4-20 メスネジ稼働部

カチオン電着後、非固着タイプシリコンクリアー塗布

注：弊社はその防錆性について最大限の努力をしておりますが、完全な防錆を長期間に渡り 100% 保証するものではありません。

商品の改良は常に行っており、塗装の仕様は予告なく変更することがございます。

ASC